

## 新規就農研修生修了証授与式

町内のミニトマト農家や静内ハウス団地、農業実験センターで2年間の研修を重ねた2組3人の研修生に、5月11日、役場静内庁舎で農業担い手育成支援協議会の有田会長も同席する中、大野町長から修了証が手渡されました。

今回研修を終えたのは、ミニトマト農家の日根野善鷹さん、夕紀さん夫妻と花き農家の宮越麻美さんで、2組とも4月から新規就農されています。

大野町長は「経験を積んで、これから指導できる立場になってほしい」と激励しました。



## ミニトマト「太陽の瞳」出荷開始



町内で生産されたミニトマトの出荷が5月17日からJAしずくない野菜集出荷施設センターで始まり、今年は47戸の農家が生産したミニトマトが選果・箱詰めされ、道内各地のほか全国に出荷されています。

JAしずくないの遠藤生産課長は「5月は天候が良くなかったため成長はゆっくり推移。これから6月下旬のピークに向けて出荷が本格化します。今年の売上目標は9億300万円で、355トンを予定しています」と話しました。

出荷作業は11月中旬まで行われます。

## 株まつもと牧場が

### ジェイギャップ JGAPの認証を取得

黒毛和牛を生産する株まつもと牧場（松本尚志代表取締役・三石川上）が、農場経営や食品安全、家畜衛生など適切な農場管理の在り方について、JGAP（財）日本GAP協会）による厳しい試験をクリアし、認証を取得しました。町内では株まつもと牧場が初めてJGAPの認証を取得しました。

ファームホロ（三石蓬栄）に続く2例目の認証となります。

松本社長は「人にも牛にも環境にも優しいお肉として認めていただいた。安全・安心で、自信を持って提供することができ、嬉しかったです」と話しました。

